

# 県内企業の景況意識調査

(第189回)

- \* 2024年 4～6月期〈Ⅱ期〉の実績見込み
- \* 2024年 7～9月期〈Ⅲ期〉の見通し

## 2期連続の悪化

今期（2024年4～6月期〈Ⅱ期〉）の業況判断BSIは、前期比10.6ポイント低下の▲11.2となった。業種別のBSIは『金融・不動産業』で改善、『建設業』『製造業』『卸・小売業』『運輸業』『サービス業』の5業種で悪化した。

今期の業況判断BSIは幅広い業種で悪化し、2期連続の悪化となった。仕入価格高騰などの影響により、特に卸・小売業が悪化している。

来期（2024年7～9月期〈Ⅲ期〉）の業況判断BSIは、今期比4.1ポイント上昇の▲7.1となる見通し。業種別のBSIは『製造業』『卸・小売業』『運輸業』の3業種で改善、『建設業』『金融・不動産業』『サービス業』の3業種で悪化の見通しである。

来期は、引き続き幅広い業種で仕入価格高騰の影響を懸念する声があるものの、製造業では受注の増加を見込む企業があり、全体の業況判断BSIも改善する見通し。

\*2024年 4～6月期〈Ⅱ期〉の実績見込み

製造業……………2期連続の悪化

卸・小売業……………卸売業・小売業ともに悪化

建設業……………3期連続の悪化

サービス業……………5期連続のプラス水準

## 2 期連続の悪化

### ◎業況判断

【今期】(2024年4～6月期〈Ⅱ期〉)

業況判断BSI : ▲11.2 (前期比▲10.6㊦)

<内訳>

- ・よくなった 10.7% (前期比▲ 3.9㊦)
- ・悪くなった 21.9% (前期比+ 6.7㊦)
- ・変わらない 67.5% (前期比▲ 2.7㊦)

<業種別>

- ・前期比改善 : 1業種 (『金融・不動産業』)
- ・前期比悪化 : 5業種 (『建設業』『製造業』『卸・小売業』『運輸業』『サービス業』)

今期の業況判断BSIは幅広い業種で悪化し、2期連続の悪化となった。仕入価格高騰などの影響により、特に卸・小売業が悪化している。

来期は、引き続き幅広い業種で仕入価格高騰の影響を懸念する声があるものの、製造業では受注の増加を見込む企業があり、全体の業況判断BSIも改善する見通し。

【来期】(2024年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI : ▲ 7.1 (今期比+ 4.1㊦)

<内訳>

- ・よくなる 10.7% (今期比± 0.0㊦)
- ・悪くなる 17.8% (今期比▲ 4.1㊦)
- ・変わらない 71.6% (今期比+ 4.1㊦)

<業種別>

- ・今期比改善 : 3業種 (『製造業』『卸・小売業』『運輸業』)
- ・今期比悪化 : 3業種 (『建設業』『金融・不動産業』『サービス業』)

### ◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲11.4 (前期比▲12.5㊦)

5業種で悪化

収益BSI : ▲17.8 (前期比▲11.4㊦)

3業種で悪化

【来期】

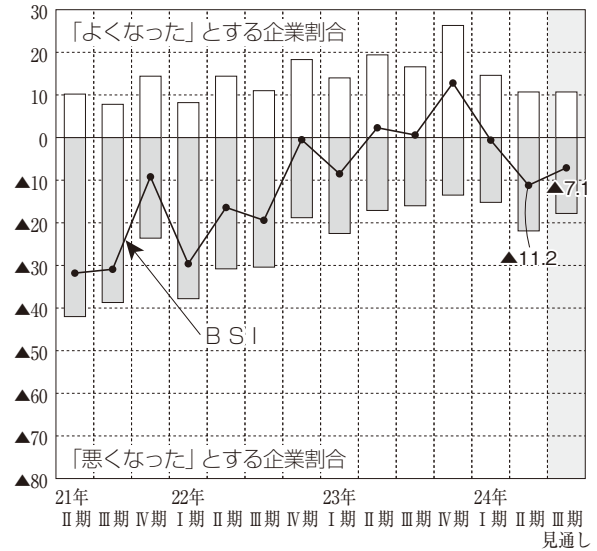
売上高BSI : ± 0.0 (今期比+11.4㊦)

5業種で改善見通し

収益BSI : ▲13.1 (今期比+ 4.7㊦)

2業種で改善見通し

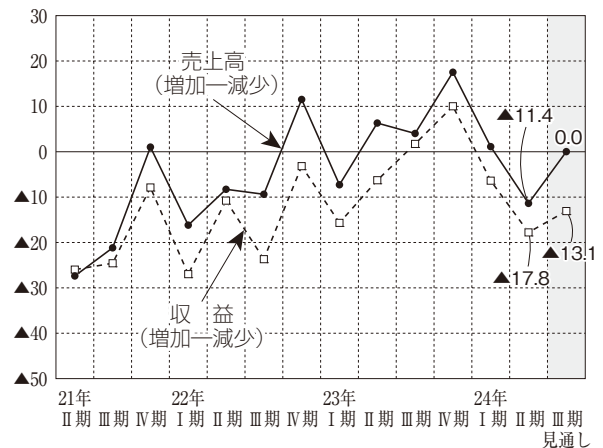
業況判断 ( B S I )



業況判断指数内訳 ( B S I )

	2023年 Ⅳ期	2024年 Ⅰ期	2024年 Ⅱ期	2024年 Ⅲ期見通し
建設業	▲ 4.0	▲ 8.3	▲12.0	▲24.0
製造業	14.0	▲ 7.3	▲11.8	0.0
卸・小売業	2.4	0.0	▲24.3	▲18.9
金融・不動産業	20.0	0.0	20.0	0.0
運輸業	9.1	7.2	▲20.0	0.0
サービス業	38.7	12.9	3.2	3.1
全 産 業	12.8	▲ 0.6	▲11.2	▲ 7.1

売上高と収益 ( B S I )



### ◎所定外労働時間と雇用者数の現状

#### 【今期】

所定外労働時間 B S I : ▲12.1 (前期比▲ 9.1ポイント)  
3業種で低下

雇用者数の現状 B S I : ▲39.2 (前期比+ 4.9ポイント)  
3業種で上昇

#### 【来期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 3.0 (今期比+ 9.1ポイント)

### ◎経営上の問題点

- 1位: 「売上不振」(26.7%)
- 2位: 「原材料仕入価格高騰」(24.2%)
- 3位: 「人手不足」(18.6%)
- 4位: 「人材不足」(13.0%)
- 5位: 「競争激化」(5.6%)

業種別にみると、「売上不振」と回答した割合は、『金融・不動産業』が40.0%と特に高い。「原材料仕入価格高騰」は『卸・小売業』で28.6%と最も高くなっている。

### ◎設備投資実施割合

#### 【今期】

実施企業の割合: 38.5% (前期比▲ 1.6ポイント)  
2業種で低下

<投資目的>

- 1位: 「補修・更新」(68.8%)
- 2位: 「生産能力の拡大・売上増加」(14.1%)
- 3位: 「合理化・省力化」(7.8%)

#### 【来期】

実施予定企業の割合: 38.5% (今期比± 0.0ポイント)  
3業種で上昇見通し

<投資目的>

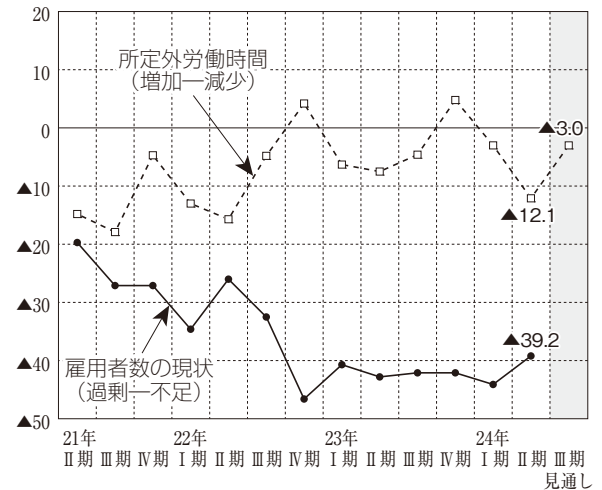
- 1位: 「補修・更新」(68.3%)
- 2位: 「生産能力の拡大・売上増加」(12.7%)
- 2位: 「合理化・省力化」(12.7%)

### ◎「2024年度の賃上げ実施」について

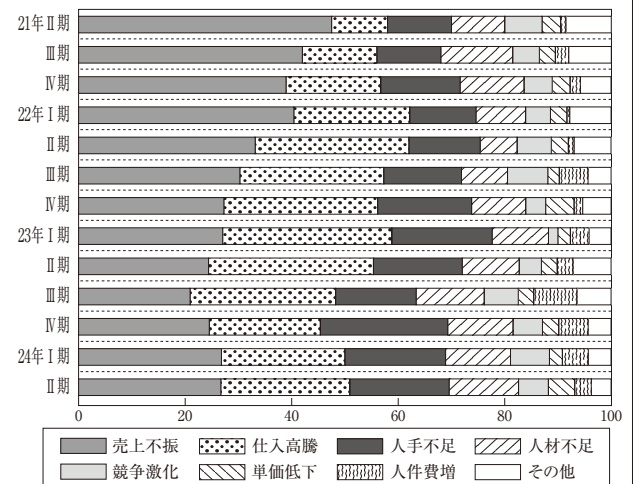
今回の調査において、「2024年度の賃上げ実施」について尋ねたところ、「例年より高い水準で実施済み・実施予定」が37.3%、「例年通りの水準で実施済み・実施予定」が42.6%、「例年より低い水準で実施済み・実施予定」が1.8%、「実施しない」が5.9%、「未定」が10.1%となった。

業種別にみると、「例年より高い水準で実施済み・実施予定」と回答した割合は『運輸業』が60.0%と最も高く、次いで『サービス業』が50.0%、『製造業』が33.9%となった。

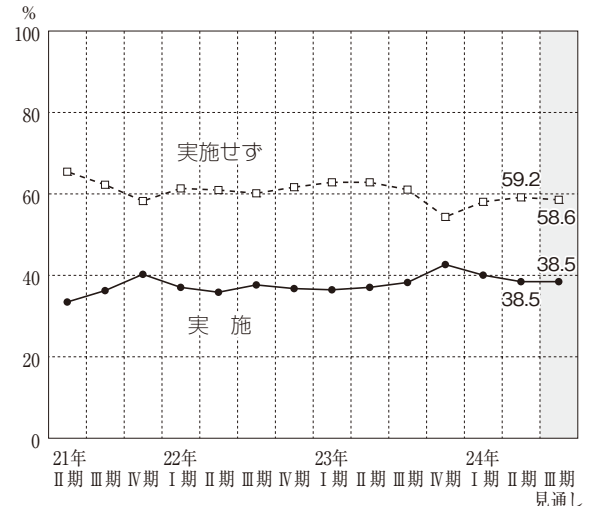
所定外労働時間と雇用者数の現状 ( B S I )



経営上の問題点 (%)



設備投資実施割合



## 2期連続の悪化

### ◎業況判断

【今期】(2024年4～6月期〈Ⅱ期〉)

業況判断BSI：▲11.8 (前期比▲4.5㊦)

＜内訳＞

- ・よくなった 11.9% (前期比+1.0㊦)
- ・悪くなった 23.7% (前期比+5.5㊦)
- ・変わらない 64.4% (前期比▲6.5㊦)

＜業種別＞

- ・前期比改善：3業種(「化学・石油」「機械」「印刷・出版」)
- ・前期比悪化：4業種(「鉄・非鉄・金属」「食品」「木材・家具」「窯業・土石」)
- ・前期比不変：1業種(「その他」)

一部で受注減少が見られた「鉄・非鉄・金属」や、住宅着工戸数の減少の影響を受けた「木材・家具」などが悪化し、全体の業況判断BSIは2期連続で悪化した。

【来期】(2024年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI：±0.0 (今期比+11.8㊦)

＜内訳＞

- ・よくなる 15.3% (今期比+3.4㊦)
- ・悪くなる 15.3% (今期比▲8.4㊦)
- ・変わらない 69.5% (今期比+5.1㊦)

＜業種別＞

- ・今期比改善：5業種(「化学・石油」「鉄・非鉄・金属」「機械」「木材・家具」「窯業・土石」)
- ・今期比不変：3業種(「食品」「印刷・出版」「その他」)

来期は、今期悪化した「木材・家具」「鉄・非鉄・金属」が上昇に寄与し、全体の業況判断BSIは改善する見通し。

### ◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲6.8 (前期比▲6.8㊦)

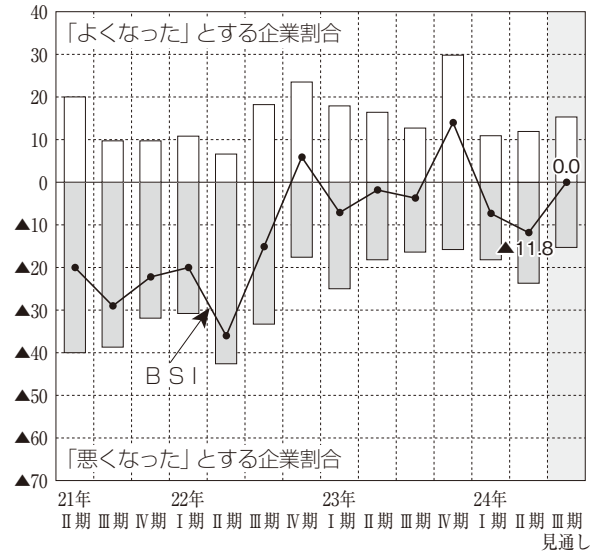
収益BSI：▲11.9 (前期比+0.8㊦)

【来期】

売上高BSI：+6.8 (今期比+13.6㊦)

収益BSI：▲8.5 (今期比+3.4㊦)

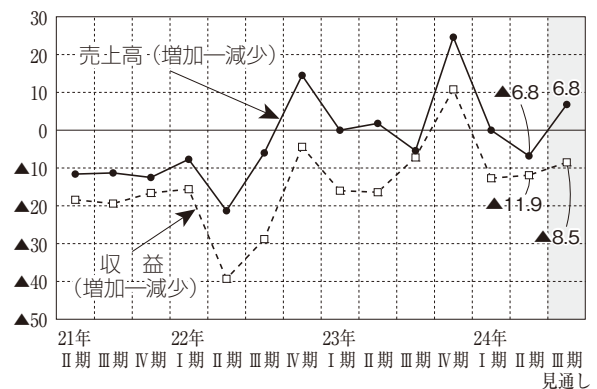
業況判断 ( B S I )



業況判断指数内訳 ( B S I )

	2023年Ⅳ期	2024年Ⅰ期	2024年Ⅱ期	2024年Ⅲ期見通し
化学・石油	0.0	▲22.2	▲12.5	0.0
鉄・非鉄・金属	20.0	50.0	▲33.3	0.0
機 械	0.0	▲17.6	▲13.7	▲9.1
食 料 品	46.7	18.2	16.7	16.7
木材・家具	33.3	▲33.3	▲66.7	0.0
印刷・出版	▲25.0	▲25.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	0.0	▲33.3	0.0
そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
製 造 業	14.0	▲7.3	▲11.8	0.0

売上高と収益 ( B S I )



# 卸・小売業

(37社)

## 卸売業・小売業ともに悪化

### ◎業況判断

【今期】(2024年4～6月期〈Ⅱ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI : ▲22.2 (前期比▲16.9㊦)

<内訳>

- ・よくなった 11.1% (前期比+ 0.6㊦)
- ・悪くなった 33.3% (前期比+17.5㊦)
- ・変わらない 55.6% (前期比▲18.1㊦)

『小売業』

業況判断BSI : ▲26.3 (前期比▲31.0㊦)

<内訳>

- ・よくなった 5.3% (前期比▲13.7㊦)
- ・悪くなった 31.6% (前期比+17.3㊦)
- ・変わらない 63.2% (前期比▲ 3.5㊦)

小売業は売上高BSI、収益BSIともに悪化し、業況判断BSIは大幅に悪化した。小売業では、仕入価格高騰の影響が懸念されている。

【来期】(2024年7～9月期〈Ⅲ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI : ▲16.7 (今期比+ 5.5㊦)

『小売業』

業況判断BSI : ▲21.1 (今期比+ 5.2㊦)

業況判断BSIは卸売業、小売業ともに小幅に改善する見通し。小売業では、夏物アイテムの売上増加を期待する声が聞かれた。

### ◎卸売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲23.5 (前期比+ 1.5㊦)

収益BSI : ▲29.4 (前期比+ 0.6㊦)

【来期】

売上高BSI : ▲11.8 (今期比+11.7㊦)

収益BSI : ▲29.5 (今期比▲ 0.1㊦)

### ◎小売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲15.7 (前期比▲10.9㊦)

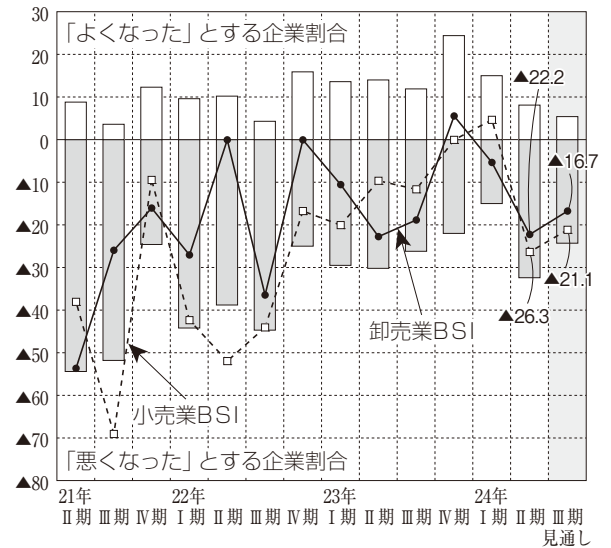
収益BSI : ▲31.5 (前期比▲26.7㊦)

【来期】

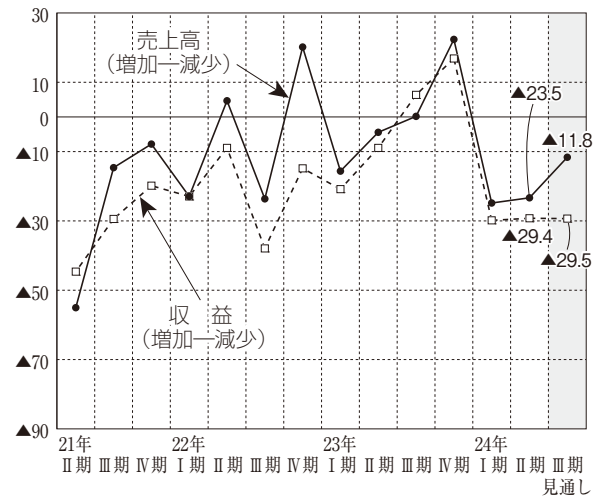
売上高BSI : ± 0.0 (今期比+15.7㊦)

収益BSI : ▲31.5 (今期比± 0.0㊦)

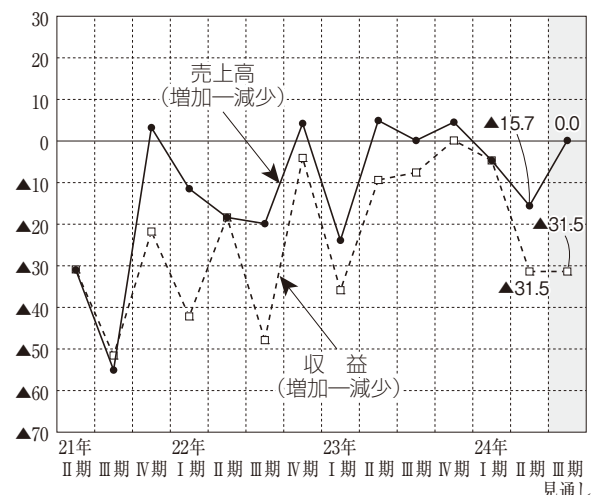
業況判断 ( B S I )



【卸売業】売上高と収益 ( B S I )



【小売業】売上高と収益 ( B S I )



## 3期連続の悪化

### ◎業況判断

【今期】(2024年4～6月期〈Ⅱ期〉)

業況判断BSI : ▲12.0 (前期比▲ 3.7㊦)

<内訳>

- ・よくなった 0.0% (前期比▲ 4.2㊦)
- ・悪くなった 12.0% (前期比▲ 0.5㊦)
- ・変わらない 88.0% (前期比+ 4.7㊦)

「よくなった」と回答した企業はなく、業況判断BSIは3期連続で悪化した。経営上の課題として、人手不足や仕入価格高騰を挙げる企業が多かった。

【来期】(2024年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI : ▲24.0 (今期比▲12.0㊦)

<内訳>

- ・よくなる 0.0% (今期比± 0.0㊦)
- ・悪くなる 24.0% (今期比+12.0㊦)
- ・変わらない 76.0% (今期比▲12.0㊦)

受注の減少や住宅需要の落ち込みが懸念されることから「よくなる」と回答した企業はなく、業況判断BSIは悪化する見通し。

### ◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲36.0 (前期比▲48.5㊦)

収益BSI : ▲40.0 (前期比▲40.0㊦)

【来期】

売上高BSI : ▲12.0 (今期比+24.0㊦)

収益BSI : ▲ 8.0 (今期比+32.0㊦)

### ◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間BSI : ▲32.0 (前期比▲23.7㊦)

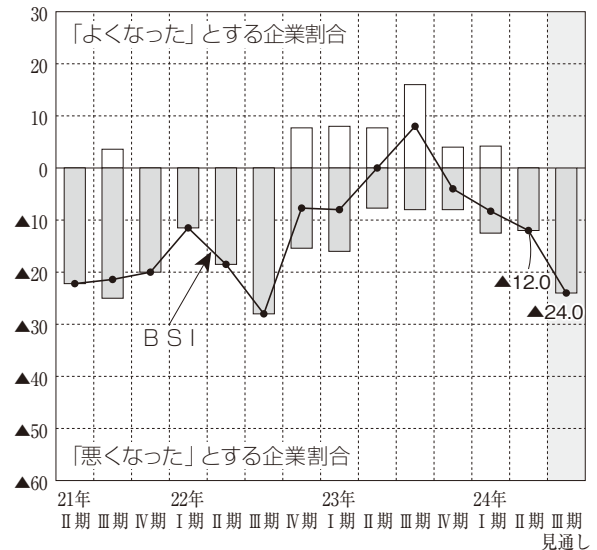
雇用者数の現状BSI : ▲64.0 (前期比+11.0㊦)

【来期】

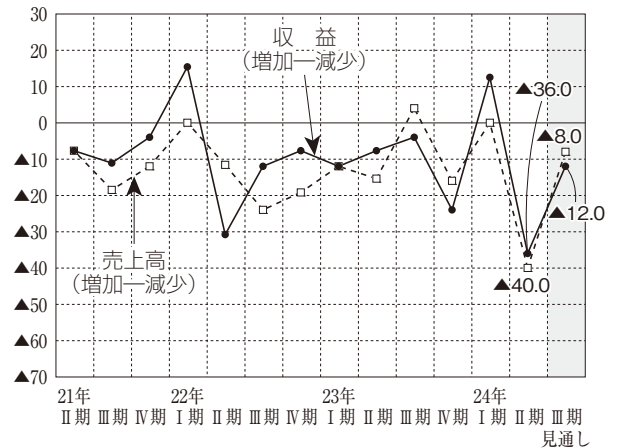
所定外労働時間BSI : ± 0.0 (前期比+32.0㊦)

雇用者数の現状BSIは上昇したが、前期に続き大幅なマイナス水準であり、事業者の人手不足感が高止まりが続いている。

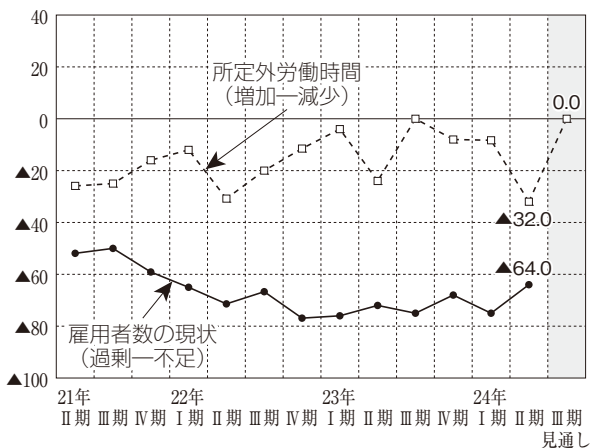
業況判断 ( B S I )



売上高と収益 ( B S I )



所定外労働時間と雇用者数の現状 ( B S I )



## 5期連続のプラス水準

### ◎業況判断

【今期】(2024年4～6月期〈Ⅱ期〉)

業況判断BSI: + 3.2 (前期比▲ 9.7ポイント)

<内訳>

- ・よくなった 18.8% (前期比▲10.2ポイント)
- ・悪くなった 15.6% (前期比▲ 0.5ポイント)
- ・変わらない 65.6% (前期比+10.8ポイント)

観光関連では、業況は減速感が見られるが、インバウンドの増加により好況を維持する企業が多く、全体では5期連続のプラス水準となった。また、経営上の課題として、人手不足や仕入価格高騰を挙げた企業が多かった。

サービス業のうち観光関連の15社では、「よくなった」と回答した企業は前期比26.6ポイント減の26.7%、「悪くなった」と回答した企業は26.7ポイント増の26.7%となった。

観光関連以外の17社では、「よくなった」と回答した企業は11.8%、「悪くなった」と回答した企業は5.9%だった。

【来期】(2024年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI: + 3.1 (今期比▲ 0.1ポイント)

<内訳>

- ・よくなる 15.6% (今期比▲ 3.2ポイント)
- ・悪くなる 12.5% (今期比▲ 3.1ポイント)
- ・変わらない 71.9% (今期比+ 6.3ポイント)

### ◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI: + 6.3 (前期比▲ 0.2ポイント)

収益BSI: ▲ 6.2 (前期比▲15.9ポイント)

【来期】

売上高BSI: + 6.5 (今期比+ 0.2ポイント)

収益BSI: ▲ 6.5 (今期比▲ 0.3ポイント)

### ◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

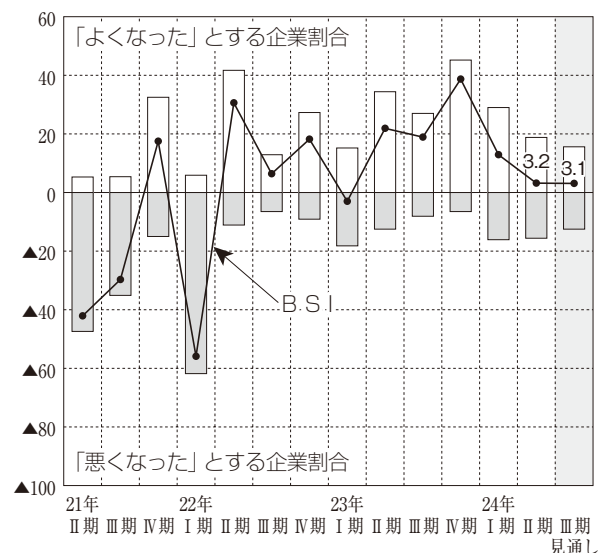
所定外労働時間BSI: + 6.5 (前期比+ 6.5ポイント)

雇用者数の現状BSI: ▲41.9 (前期比+ 6.5ポイント)

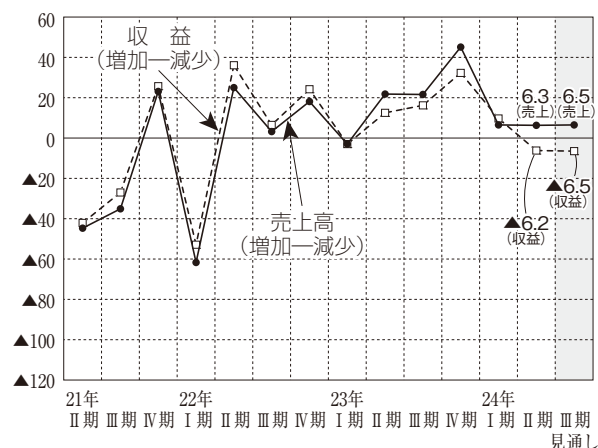
【来期】

所定外労働時間BSI: + 6.5 (今期比± 0.0ポイント)

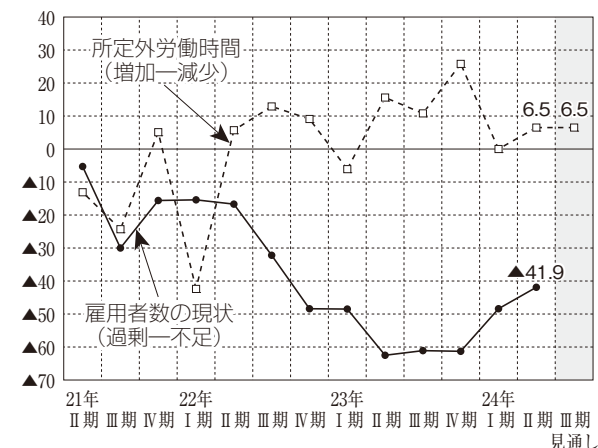
業況判断 ( B S I )



売上高と収益 ( B S I )



所定外労働時間と雇用者数の現状 ( B S I )



## BSIとは

BSIとは“Business Survey Index”の略

企業経営者の業況に関する判断や景気見通しを“よくなる・よくなった”、“変わらない”、“悪くなる・悪くなった”という3つの形式で回答を求め、これを数値であらわしたものである。

BSIは次の数式で求められる。

①[よくなる]+[変わらない]+[悪くなる]=100%とする

②[変わらない]の回答分を除く

③  $BSI = [よくなる] - [悪くなる]$

BSIが前期を上回れば景気は改善、前期を下回れば悪化という見方をする。

## 調査の概要

当調査は、大銀経済経営研究所、大分信用金庫、大分県産業創造機構の三者合同によるアンケート調査である。

◎調査時点 2024年5月20日

◎調査の内容

- ・自社の景況の実績と見通し
- ・売上高と収益の実績と見通し
- ・設備投資実施割合
- ・経営上の問題点など

◎調査対象

- ・県内に本社または出先事業所を有する企業419社

◎回答企業数 169社

・回答率 40.3%

・規模別割合

資本金1千万円未満・個人	6.5%
資本金1千万円～1億円未満	63.3%
資本金1億円以上	16.6%
無回答	13.6%

おおいたの経済と経営 NO.406 7月号付録 2024年6月25日発行（毎月1回25日発行）

発行所 株式会社大銀経済経営研究所 〒870-0035 大分市中央町2丁目9番22号 大分中央町ビルディング7階

TEL (097) 533-8111

編集発行人 衛藤 健

印刷所 株式会社佐伯コミュニケーションズ